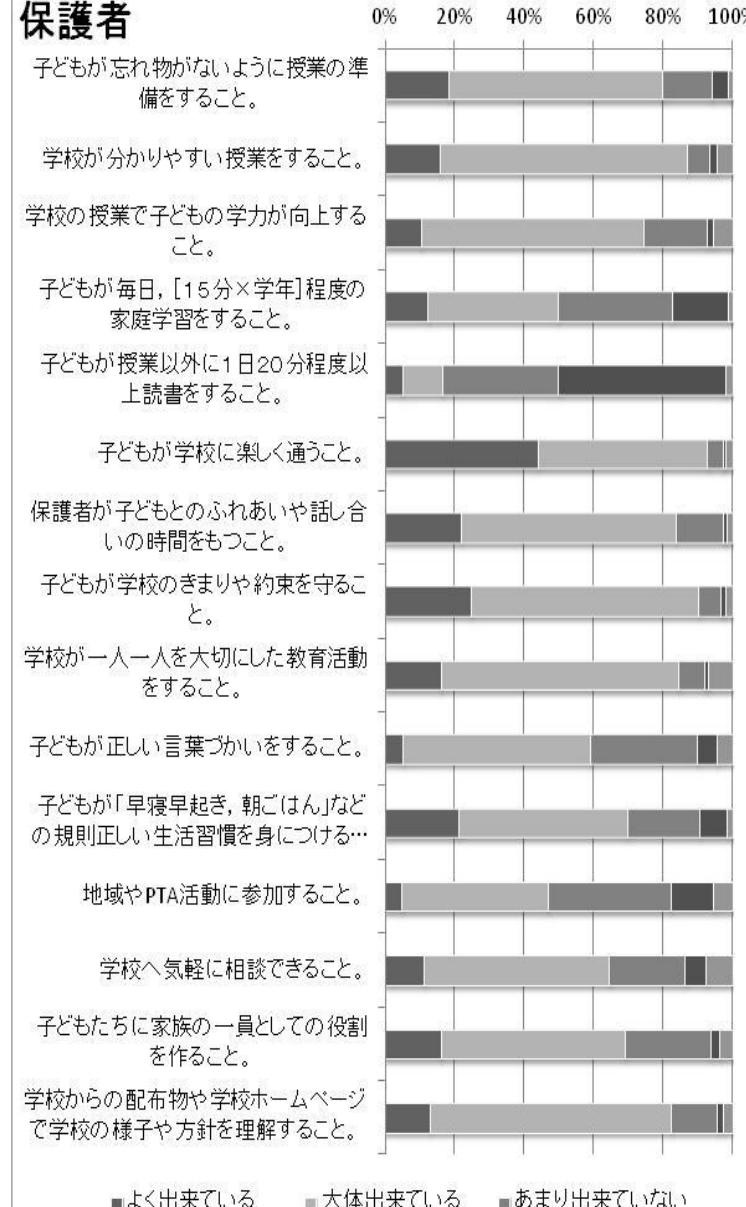


本年度前期の本校教育活動を振り返り、今後の教育活動の更なる向上のために実施いたしました「平成27年度第1回学校評価アンケート」の集計が終了いたしましたので、考察を加えてお知らせいたします。なお、本年度は質問内容はそのままに、実現度のみを回答いただきました。

全体の回答の様子をグラフでご覧ください。

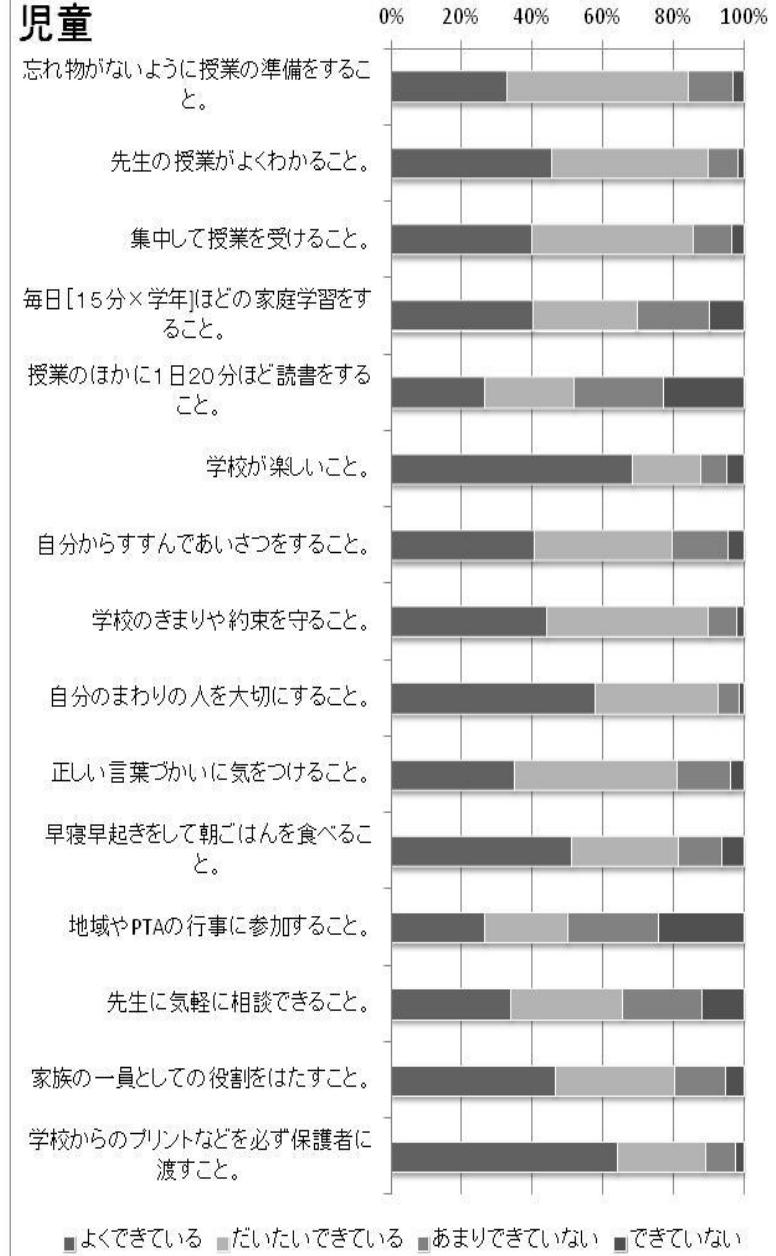
保護者



教職員



児童

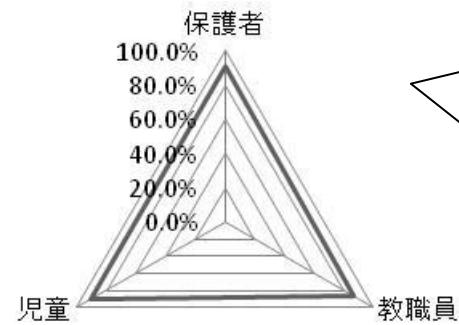




表面では回答の概要をご覧いただきました。

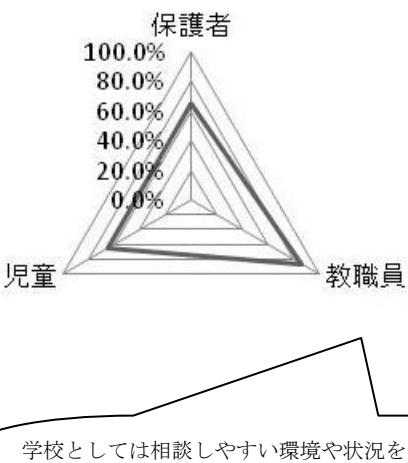
裏面では回答の集計を受け、考察を加えた項目や保護者や学校運営協議会の皆さまからいただいたご意見をお伝えいたします。子どもたちの学年による傾向も加えてみました。(比較のレーダーグラフの値は「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせた「できている群」の割合です。)

学校のきまりや約束を守ること



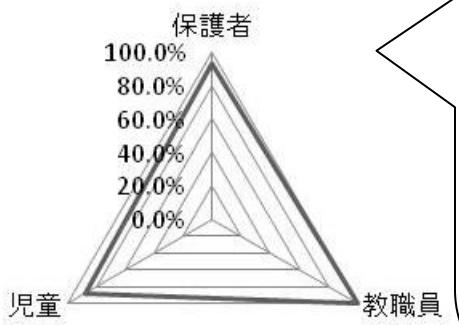
神川中学校ブロック4校で規範意識を育成することをめざした取組を進めているので、この姿勢がこのまま維持できるように取組を進めています。

学校(先生)へ気軽に相談できること



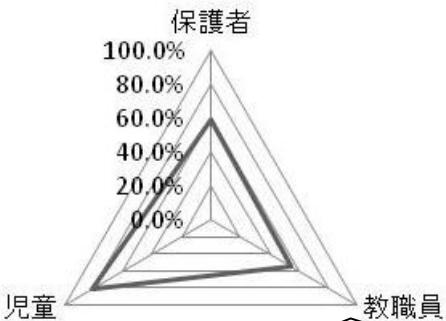
学校としては相談しやすい環境や状況をつくり出すよう努力しておりますが、自由記述も含めて、児童や保護者から見ると賛否両論といった感じです。いろいろなことに多感になる高学年になっても、必要なことはしっかりと相談できる存在になれるように、授業力だけでなく様々な必要な能力の研鑽に努めます。

楽しく学校に通うこと



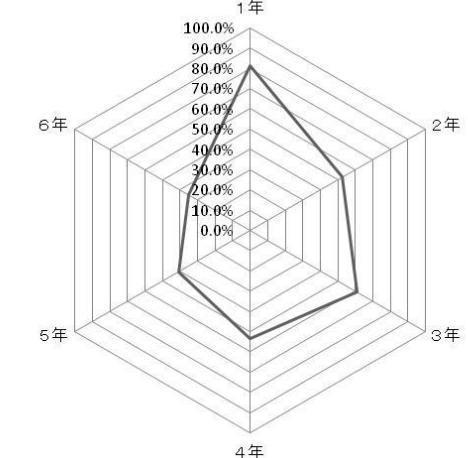
ほとんどの児童が楽しいと感じ、保護者の方々も同様に感じてもらっていることはうれしい限りです。しかし、児童全てがそう思える羽東師小学校をめざし、これからもよりよい教育実践を進めます。

正しい言葉づかいをすること



大人が感じる適切な言葉づかいと子どもが思う正しい言葉づかいには差があるかもしれません。正しい言葉づかいが実践できるように、日頃から相手意識を育てる指導を継続していきます。

授業のほかに1日20分程度読書すること



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「子どもと共に晴れ京都師民発動」を実践しましょう!
京都はぐくみ憲章

学年が上がるにしたがってできている割合が減っていきます。高学年になると授業時間も長くなり、習い事や部活動などで読書にかける時間が十分でなくなってしまうのでしょうか。高学年だからこそ、息抜きや気分転換に本を読む習慣を身につけてほしいものです。

保護者の自由記述から

- 学級通信を通して、学校での様子や宿題、持ち物を確認することができ助かっています。
- 先生方の子どもへの関わりややりとりで、親子ともに安心して学校生活を送っています。
- 先生が子どものことをよく見てよくわかってくれて感謝しています。
- 何かあればすぐに先生に相談できるという環境ができているので素晴らしい。
- 学校から帰ってきて、「楽しかった」「おもしろかった」と言ってくれることに一番安心します。
- △友達との会話の中での言葉遣いが気になります。
- △クラスで起きていること等の情報を保護者にもう少し伝えてほしいと思うことがあります。
- △アンケートの質問の内容に保護者では答えにくいものがある。
- △保護者の数が多いのに、PTAの役割を負担する保護者が限られているように思います。

学校運営協議会の方より

- ・これからも教育活動をよろしくお願いします。
- ・地域と学校のつながりは非常に大事です。学校がよくなるのも悪くなるのも、地域の人たちの関心の高さによります。だからこそ、意見を出して行動してほしい。
- ・先生方が地域活動にも協力していただきありがとうございます。
- ・鉛筆の持ち方や学習に必要な持ち物などの指導を徹底してほしい。

お忙しい中、学校評価アンケートにて多数の貴重なご意見をいただきありがとうございました。学校の取組に良い評価を頂いたご意見もありますが、改善すべき点をご指摘いただいたご意見もあります。いただいた全てのご意見を真摯に受け止め、さらに羽東師教育を進化させるよう、教職員一同精一杯努力して参ります。